

# 日本における「資格枠組み(NQF)」の 構築可能性をどう考えるか

文部科学省

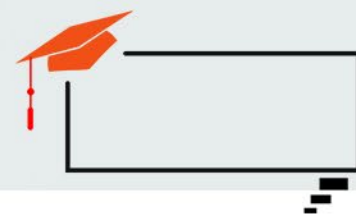
専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議(第28回)

2023年3月30日(木)

(独)大学改革支援・学位授与機構

野田 文香

# UNESCOの規約



目的: 各地域の経済・文化・技術発展を目指し、国境を越えたモビリティを促進  
→ 高等教育等の学位・資格(qualifications)の承認を円滑に



欧州 (1979; 1997)

地中海 (1976)

アラブ (1978; 2022)

アフリカ (1981; 2014)

世界規約 (2019)

アジア太平洋

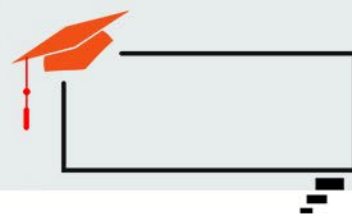
➤ バンコク規約 (1983)

➤ 東京規約 (2011)

ラテンアメリカ・カリブ海 (1974; 2019)

第1世代 (70~80年代): 労働市場へのアクセスなど職業人のモビリティを含める  
第2世代 (90年代以降): 学生や研究者交流などの学術モビリティに焦点化

# 東京規約(2011 Tokyo Convention)



高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約

The Asia-Pacific Regional Convention on the Recognition of Qualifications in Higher Education

## 目的

締約国間で、学生や研究者など国を越えて進学・就職等をしようとする際の高等教育資格を、受け入れ国が承認・評定しやすい仕組みを互いに整備することにより、国際モビリティを促進。

## 締約国

オーストラリア、中国、ニュージーランド、**日本**、韓国、バチカン市国、トルコ、モンゴル、フィジー、ロシア、アフガニスタン、アルメニア（12ヶ国）

- 2017年12月：日本が東京規約に加入
- 2018年 2月：東京規約の発効

# National Information Center (NIC)


(2019年9月:大学改革支援・学位授与機構内に設立)




# NIC-Japan

高等教育資格承認情報センター

日本の教育制度について



基本情報・  
教育制度の概要



高等教育機関の  
種類



高等教育資格



高等教育機関への  
入学

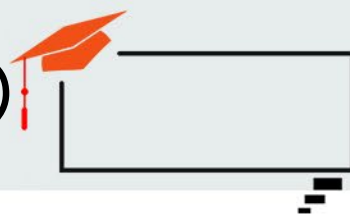


質保証制度



学習評価

# 世界規約(2019 Global Convention)



## 高等教育の資格の承認に関する世界規約

Global Convention on the Recognition of Qualifications concerning Higher Education

### 目的

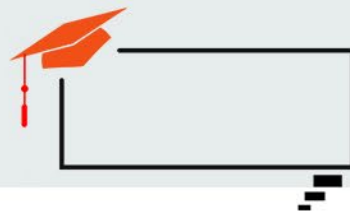
**高等教育の資格の承認のための包摂的な世界的枠組み**を提供し、高等教育における世界的な移動等を容易にするとともに国際協力を促進・強化。

### 締約国

ノルウェー、ニカラグア、エストニア、フランス、ルーマニア、チュニジア、クロアチア、バチカン、リトアニア、アルメニア、イギリス、コートジボワール、キューバ、パレスチナ、スウェーデン、スロバキア、**日本**、カーボベルデ、アイスランド、アンドラ、オーストラリア (21ヶ国)

- 2022年9月: 日本が世界規約に加入
- 2023年3月5日: 世界規約の発効

# National Qualifications Framework (NQF)

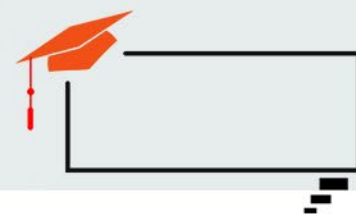


- 各国内の学位・資格などのqualifications情報を**一元的に整理し、可視化を図る参照ツール**
- 各国の異なる**学位・資格の読みやすさ(readability)・比較可能性(comparability)**を高めるための**翻訳装置**
- これまで別々に制度づけられてきた**多様な教育訓練セクター間の関係を明らかにし、各セクターで獲得される資格に対してアウトカムや水準を設定**
- 現在、**150ヶ国以上で導入・検討**(うち130ヶ国以上で開発・導入・評価において発展的段階にあると報告: Kevvy, 2020)



Source: European Union, 2014

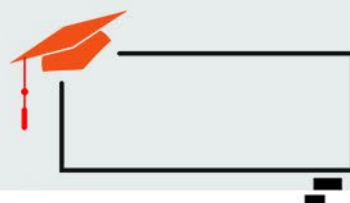
# NQFに期待される役割



- 学位・資格制度の**整理・可視化**
- **アウトカムに基づく資格の透明性の向上**
- 学習者のセクター間**移動(入学、編入学、就職など)の支援**
- 教育プログラムの**質保証システム(大学評価など)の一環**
- **教育訓練と労働市場との関係性の強化**
- 水準やアウトカムの策定に関する**雇用者の関与**
- **リカレント教育・生涯学習・継続教育の促進**
- 職業教育の**地位の向上**

Sources: Allais (2014); UNESCO, CEDEFOP & ETF (2017)

# 日本にNQFがなぜ必要か？(1)



## ①ユネスコの東京規約と世界規約、NICの設立

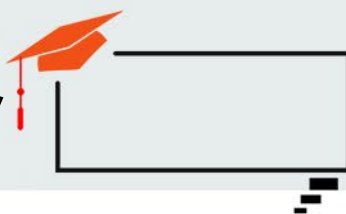
- 日本の学位・資格の相互位置づけや接続条件などを国内外に適切に説明し、外国資格との比較可能性を明確にする必要性(NICの国際ネットワーク拡大に伴い、**日本の資格と外国資格との「同等性」**に関して国内外からの問合せ増)
- 【世界規約の目的】国際的な移動を支援するため、質の保証、**資格の枠組み**及び資格の承認における**信頼性、整合性及び補完性の確保に必要な能力を開発**すること(第2・2条)
- 【締約国の義務】適当な場合には、自国の高等教育制度、資格、質の保証及び**資格の枠組み**に関する**信頼すべきかつ正確な情報へのアクセスを提供**すること(世界規約第4・8条)

## ②進学・就職希望者のモビリティに係る不利益回避

- 特に「学士」「修士」「博士」以外の日本独自の学位・称号や入学資格要件などの分かりにくさを解消し、正確な情報発信により、**資格保有者が不利益を被ることを回避**



# 海外からみて分かりにくい日本の教育制度・資格



## ■ 日本の教育制度・学位等に関する情報・理解不足

### □ 教育機関種別

- ✓ 専門職大学院と専門学校の違い

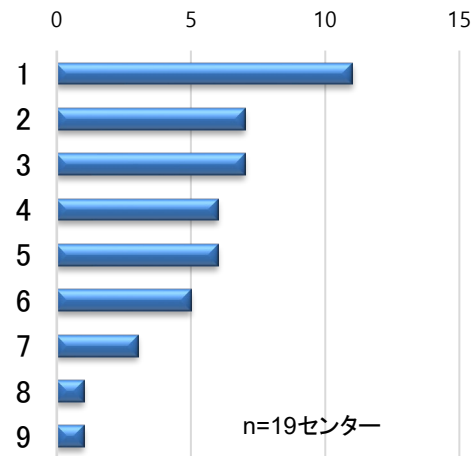
### □ 教育資格

- ✓ 「専門士・高度専門士」「準学士」  
「短期大学士」「専門職学位」の違い
- ✓ 資格改廃情報(例:短期大学士と  
2005年以前の準学士)

### □ 入学要件

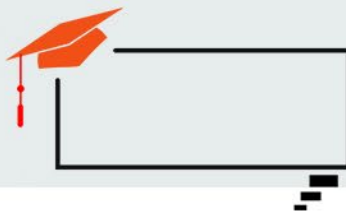
### □ 機関の認可状況

外国NICが理解困難と感じる情報



Source: 大学評価・学位授与機構(2016)「モビリティ調査」  
[http://www.niad.ac.jp/n\\_kokusai/publish/rsc/no17\\_mobility\\_report\\_full.pdf](http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/publish/rsc/no17_mobility_report_full.pdf)

# 「専門士」「高度専門士」と大学/大学院との接続



## 専門士→大学編入学

□ 編入学者数(2021) = 1,849名

『令和3年度 学校基本調査』

□ 編入学実施校数(2018) : 453大学、1,132学部

『平成30年度 専修学校修了者「大学編入学」調査結果について(報告)』 回答大学 n=589

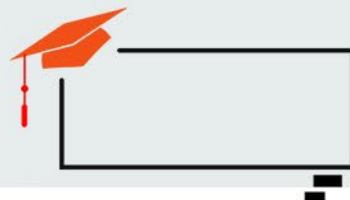
## 高度専門士→大学院入学

□ 出願者数(2017) = 74名、入学者数(2017) = 45名

□ 募集要項上の記載(2018) : 283大学院

『平成30年度 4年制専門学校修了者「大学院入学」状況調査結果について(報告)』 回答大学院 n=478

# 日本にNQFがなぜ必要か？(2)



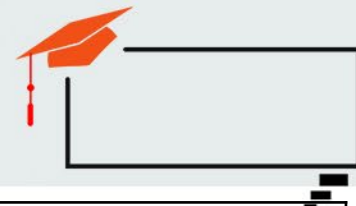
## ③国際通用性を伴った学位(資格)の質保証

- 外国資格の評定・承認は、「**得られた知識及び技能に主たる焦点を合わせたもの**」(東京規約第3・1条, 第6・1条)
- 質保証の国際議論:「何を教えるか」から「**学生が何を学び、身に付けたか**」を示す**学修者本位のアウトカムベース・アプローチへの転換**
- 各学位・資格保有者に求められるアウトカムや水準について共有できる枠組みがなく、何を根拠に当該資格の価値を説明すべきかが不明(出口管理不在)

## ④リカレント教育・リスキリング・生涯学習の環境整備

- 従前の学習(prior learning)、部分的な修学(partial studies)、形式によらない学習(informal learning)の承認(東京規約第4・7条、第5・2条、第6・3条、世界規約第4・6条)
- マイクロクレデンシャルの承認、教育－職業間のモビリティ支援

# NQFの多様性



枠組みが網羅する範囲	高等教育、職業教育(VET)、一般教育など
枠組みのタイプ	総合型、高等教育型、学校教育型、職業教育型など
枠組みのレベル数	8レベルが標準(欧州資格枠組み(EQF)、ASEAN資格参照枠組み(AQRF)など)  スコットランド(12)、ニュージーランド・南アフリカ(10)、インドネシア(9)、香港(7)、フランス(5)(現在、8レベルに移行中)など
アウトカム指標(ディスクリプタ)の内容	「知識・スキル+α」のパターンが多い
枠組みの管轄・運用の主体者	政府、質保証機関、非営利団体、産業界など

# 日本の教育資格枠組み(試案)

## Japanese Educational Qualifications Framework

Level	Qualifications
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>Doctoral degree [Hakushi] / 博士</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>Master's degree [Shushi] / 修士</li> <li>Master of xxx (Professional) [Shushi (Senmonshoku)] / 修士 (専門職)</li> <li>J.D. (Juris Doctor) [Homu hakushi (Senmonshoku)] / 法務博士 (専門職)</li> <li>Master of Education (Professional) [Kyoshoku shushi] / 教職修士 (専門職)</li> <li>Bachelor's degree (Medical, Dentistry, Pharmaceutical Sciences (Clinical), and Veterinary Medical Science) [Gakushi (Igaku, Shigaku, Yakugaku (Rinsho Mokuteki), Juigaku)] / 学士&lt;医学、歯学、薬学(臨床目的)、獣医学&gt;</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bachelor's degree [Gakushi] / 学士 (学士&lt;医学、歯学、薬学(臨床目的)、獣医学&gt;は除く)</li> <li>Bachelor's degree (Professional) [Gakushi (Senmonshoku)] / 学士 (専門職)</li> <li>Advanced diploma [Kodosenmonshi] / 高度専門士</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Associate degree [Tankidaigakushi] / 短期大学士</li> <li>Associate degree (Professional) [Tankidaigakushi (Senmonshoku)] / 短期大学士 (専門職)</li> <li>Associate [Jungakushi] / 準学士</li> <li>Diploma [Senmonshi] / 専門士</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Certificate of Completion (Advanced course, upper secondary school) / 修了証書(高等学校専攻科)</li> <li>Certificate of Completion (Advanced course, secondary education school, second term) / 修了証書(中等教育学校後期課程専攻科)</li> <li>Certificate of Completion (Advanced course, upper secondary department, school for special needs education) / 修了証書(特別支援学校高等部専攻科)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Certificate of Graduation (Upper secondary school) / 卒業証書(高等学校)</li> <li>Certificate of Graduation (Secondary education school) / 卒業証書(中等教育学校)</li> <li>Certificate of Graduation (Upper secondary department, school for special needs education) / 卒業証書(特別支援学校高等部)</li> <li>Certificate of Completion (Regular course, completion of 3rd grade, college of technology) / 修了証書(高等専門学校本科3年次修了)</li> <li>Certificate of Graduation (Upper secondary course, specialized training college) / 卒業証書(専修学校高等課程)</li> <li>Certificate (Upper Secondary School Equivalency Examination) / 高等学校卒業程度認定試験合格証書</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Certificate of Graduation (Lower secondary school) / 卒業証書(中学校)</li> <li>Certificate of Graduation (Compulsory education school) / 修了証書(義務教育学校)</li> <li>Certificate of Graduation (Lower secondary department, school for special needs education) / 卒業証書(特別支援学校中学部)</li> <li>Certificate (Lower Secondary School Equivalency Examination) / 中学校卒業程度認定試験合格証書</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Certificate of Graduation (Elementary school) / 卒業証書(小学校)</li> <li>Certificate of Graduation (Elementary department, school for special needs education) / 卒業証書(特別支援学校小学部)</li> </ul>

同レベルに位置づけられる資格は互いに「同質 (homogenous)」ではなく、「同等 (equivalent)」  
ないしは「比較可能 (comparable)」である